

TeCOT 医療機関の登録実績及び検体採取能力について

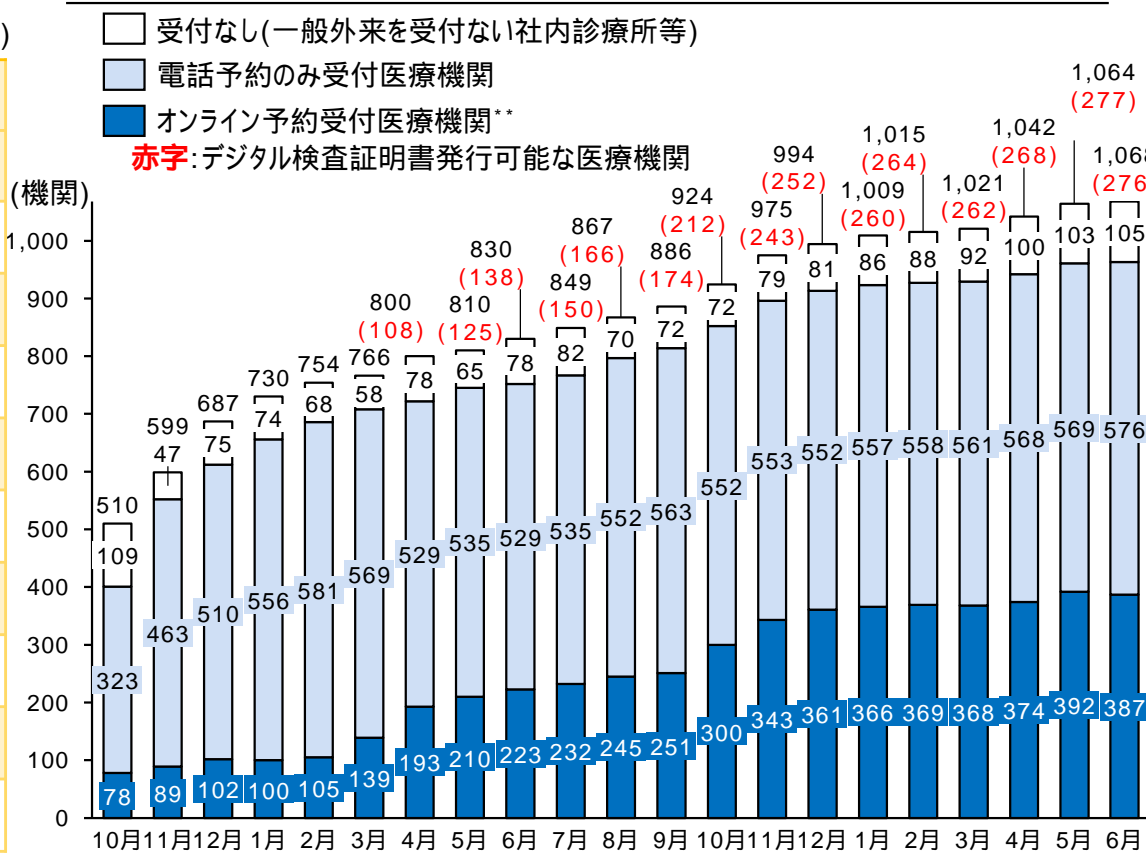
- 日本医師会・渡航医学会・経団連等のご協力を得て登録を呼び掛けた結果、最終的な登録医療機関数は1,074機関。また、全都道府県ブロックに存在（図1）。
- 令和3年4月のTeCOTモバイルアプリ・デジタル検査証明書発行機能のリリースに伴い、医療機関に周知広報を行った結果、最終的にオンライン予約機能を利用する医療機関は全体の約3分の1まで増加し、そのうち約7割がデジタル検査証明書発行機能を利用（図2）。

（図1）TeCOT医療機関の登録実績
【令和4年7月18日時点（7月25日公表）】

【ブロック別 医療機関数・検体採取能力】 (単位:件)

ブロック	医療機関数	検体採取能力/日		
		平日(平均)	土	日
北海道	20	498	443	315
東北	29	338	240	53
関東甲信越	580	38,006	34,137	29,677
中部	142	3,394	2,446	1,609
近畿	177	7,760	6,808	5,545
中国	29	597	417	5
四国	25	263	180	4
九州	72	896	596	252
小計	1,074	51,751	45,267	37,450

（図2）TeCOTオンライン予約受付医療機関数*の推移
【全国】

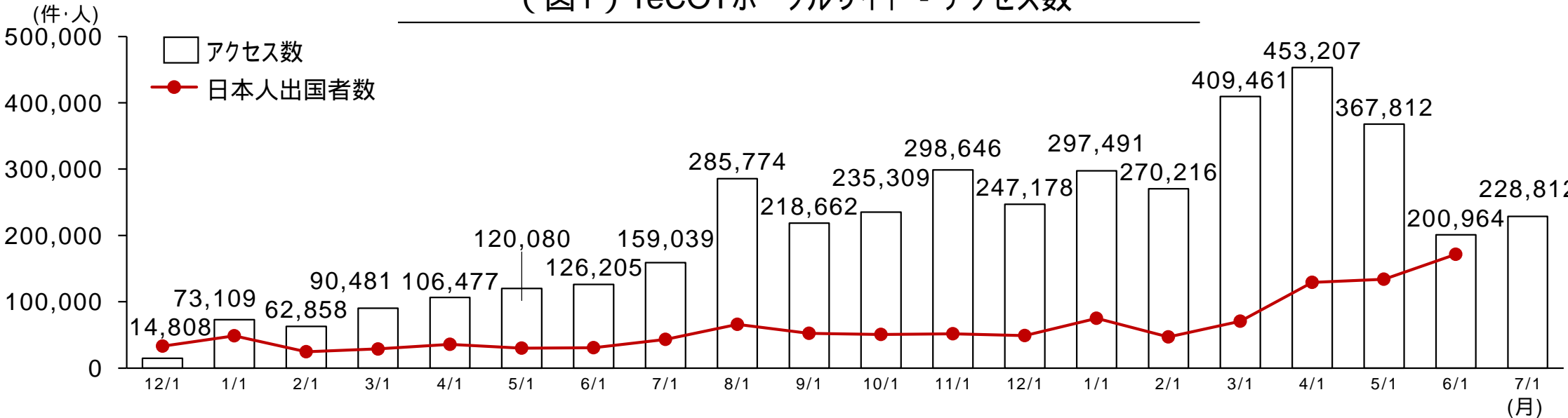


*各月末時点での登録医療機関について集計 **オンライン・電話予約併用機関を含む

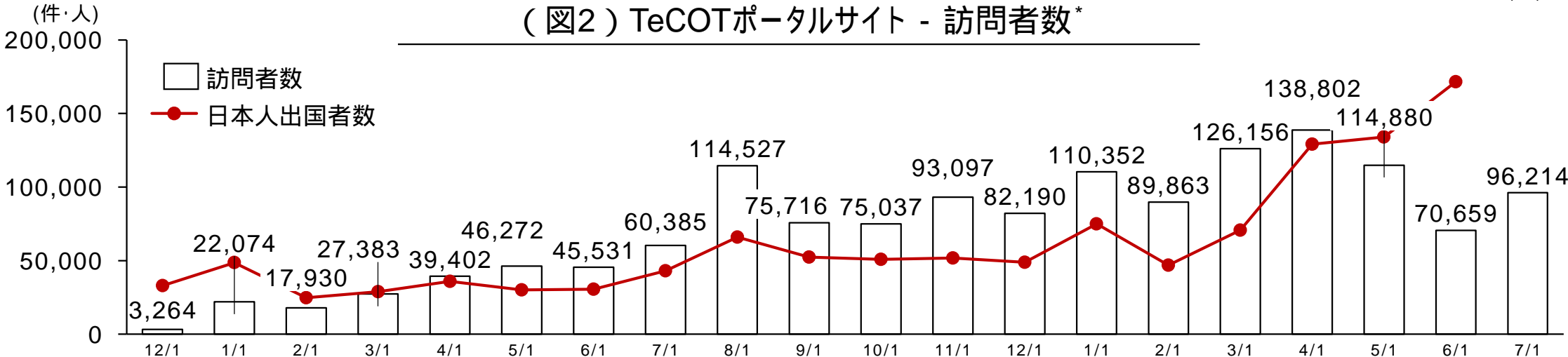
TeCOTの利用状況（TeCOTポータルサイト【全体】）について

- 各国の入国要件緩和に伴い日本人出国者数は増加傾向にあるが、TeCOTはサービス縮小と共にポータルサイト全体へのアクセス数・訪問者数がピーク時に比べると半減。

（図1）TeCOTポータルサイト - アクセス数*



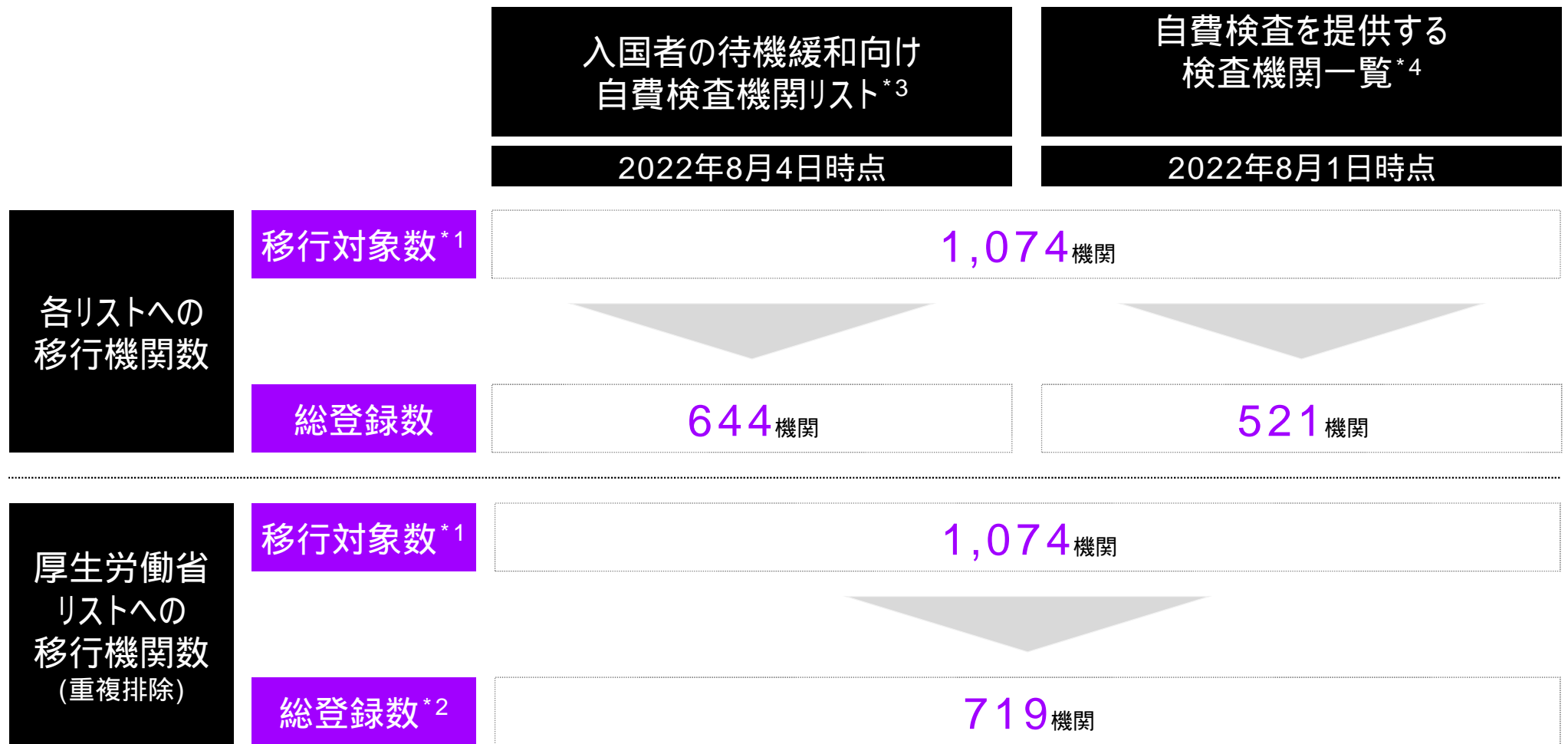
（図2）TeCOTポータルサイト - 訪問者数*



* 2022年7月31日23:59断面のデータを基に集計。訪問者数については、同一ユーザーが日付を跨いでアクセスした場合は重複を排除して計上（月）
日本人出国者数は[出入国在留管理庁](#)のデータに基づき集計。2022年6月は速報値を使用

厚生労働省のリストへの移行状況について

- TeCOT医療機関登録簿から、「入国者の待機緩和向け自費検査機関リスト」へ644機関の移行完了を確認(2022/8/4時点)。また、「自費検査を提供する検査機関一覧」へ521機関の移行完了を確認(2022/8/1時点)。
- いずれかのリストの登録されている医療機関は719機関に及ぶ。



^{*1} 2022年7月18日までの申請に基づく2022年7月25日の最終公表時のTeCOT登録医療機関数

^{*2} 保健班リスト及び検査班リストへ登録済の医療機関の重複を省いた医療機関数

³ <https://www.c19.mhlw.go.jp/search/>

^{*4} https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-jihikensa_00001.html